



## 平成30年度 男女共同参画啓発イベント

### 「標語・川柳」コンクール

入賞作品を紹介します。



毎年10月は愛知県の定める男女共同参画月間です。本市ではこの月間にあわせて、男女共同参画の啓発を図ることを目的とし標語と川柳の募集を行いました。今年度、一般の部に81点、中学生の部に213点の作品が集まりました。この中から、厳正なる審査の結果、一般の部から最優秀1点、優秀3点、入選5点、中学生の部から最優秀1点、優秀3点、入選10点を選出しました。

今号では、紙面スペースの関係から、最優秀作品と優秀作品のみ紹介させていただきます。

#### 【選考委員全体講評】

今年度の作品は子育て世代から子育ての終わった夫婦まで、年代問わず家庭から職場、社会へと共同の輪を広げていこうという意識が感じられ、家庭内での協力や対等な関係が男女共同参画には不可欠であることを再認識する機会になりました。

ご覧になられた皆様が受賞作品からさまざまな視点や共感を得ることで、男女共同参画意識がより一層広がっていくことを期待します。

### 中学生の部



お互いを支え認めて 築く未来  
(加藤 百華 さん / 石巻中)



わかちあい 家事も仕事も 共同参画  
(山部 かりん さん / 東部中)



「男でしょ」「女だろ」そんな言葉は聞き飽きた  
(村田 みい奈 さん / 東部中)



台所 二人で並ぶ 父と母  
(山田 美翔 さん / 東部中)

### 一般の部



家から始まる夫婦共同  
職場へ持ち込む男女共同



男女差を 補い合って 良い仕事  
(鈴木 正子 さん)



ジェンダーを 超える貴方が チャレンジヤー  
(高木 彰 さん)



空いた手は 男女い問わず さし出そう  
(北河 貞子 さん)

## 図書室のご案内

- 利用時間 午前9時～午後9時
- 貸出方法 利用者登録をしていただきます。  
身分の証明できるものを持参してください。
- 貸出期間等 一人3冊まで、2週間貸出します。  
返却は豊橋市役所1階の「じょうほうひろば」でもできます。



## 新 着 本

平成30年3月から平成30年6月までに届いた図書を紹介します。  
(10月以降の図書は、次号でお知らせします。)

女性	『ワンオペ育児 - わかってほしい休めない日常』 藤田 結子【著】
	『はじめてのジェンダー論 有斐閣ストウディア』 加藤 秀一【著】
	『サフラジェット - 英国女性参政権運動の肖像とシルビア・パンクハースト』 中村 久司【著】
	『エンパワーメント-働くミレニアル女子が身に着きたい力-』 大崎 麻子【著】
	『10万個の子宮-あの激しいけいれんは子宮頸がんワクチンの副反応なのか-』 村中 璃子【著】
	『女性校長はなぜ増えないのか-管理職養成システム改革の課題-』 河野 銀子【著】
	『問題だらけの女性たち-The Trouble With Women-』 ジャッキー フレミング【著】/松田 青子【訳】
	『男女平等は進化したか-男女共同参画基本計画の策定、施策の監視から-』 鹿嶋 敬【著】
社会	『芸人式新聞の読み方』 プチ 鹿島【著】
	『40代でシフトする働き方の極意』 佐藤 優【著】
	『行動経済学まんがへんてこノミクス』 佐藤 雅彦・菅 俊一【原作】/高橋 秀明【画】
	『14歳ホステスから年商10億のIT社長へ』 久田 真紀子【著】
	『「負動産」時代の危ない実家相続 - 知らないと大損する38のポイント』 藤戸 康雄【著】
	『危機にこそぼくらは甦る - 新書版ぼくらの真実』 青山 繁晴【著】
	『認知症は接し方で100%変わる！ - 「こころ」の名医が教える』 吉田 勝明【著】
	『自動車会社が消える日』 井上 久男【著】
	『危機の現場に立つ』 中満 泉【著】
	『あなたが気づかないだけで神様もゲイもいつもあなたのそばにいる』 平良 愛香【著】
	『男が痴漢になる理由』 斉藤 章佳【著】
	『国家がなぜ家族に干渉するのか-法案・政策の背後にあるもの-』 本田 由紀・伊藤 公雄【著】
	『ロボット-それは人類の敵か、味方か』 中嶋 秀朗【著】
	『アカデミック・ハラスメントの解決-大学の常識を問い直す-』 北仲 千里・横山 美栄子【著】
	『社会的養護のもとで育つ若者の「ライフチャンス」』 永野 咲【著】
文化	『私たちの星で』 梨木 香歩・師岡 カリーマエルサムニー【著】
	『聖の社会学』 勝 桂子【著】
	『迷いながら、強くなる』 羽生 善治【著】
	『ちいさい言語学者の冒険-子どもに学ぶことばの秘密-』 広瀬 友紀【著】
	『最後の浮世絵師 月岡芳年』 平松 洋【著】

歴史	『不死身の特攻兵 - 軍神はなぜ上官に反抗したか』 鴻上 尚史【著】
	『歴史を学び、今を考える-戦争そして戦後-』 内海 愛子・加藤 陽子【著】
	『世界のビジネスエリートが身につける教養「西洋美術史」』 木村 泰司【著】
生活	『人生を思い通りに操る片づけの心理法則』 メンタリストDaiGo【著】
	『〈ひとり死〉時代のお葬式とお墓』 小谷 みどり【著】
	『結婚と家族のこれから - 共働き社会の限界』 筒井 淳也【著】
	『パパは脳研究者 - 子どもを育てる脳科学』 池谷 裕二【著】
	『弘兼流60歳からの楽々男メン』 弘兼 憲史【著】
	『bonとponふたりの暮らし』 bonpon【著】
	『バーの主人が本当に作っている大人のつまみ弁当』 間口 一就【著】
	『東海仏像めぐり』 田中 ひろみ【著】
健康	『血圧と心臓が気になる人のための本』 古川 哲史【著】
	『甘いもの中毒 - 私たちを蝕む「マイルド・ドラッグ」の正体』 宗田 哲男【著】
	『顔ニモマケズ - どんな「見た目」でも幸せになれることを証明した9人』 水野 敬也【著】
	『誰も教えてくれない大人の性の作法』 坂爪 真吾【著】
	『羽生結弦は助走をしない - 誰も書かなかったフィギュアの世界』 高山 真【著】
文学	『AX』 伊坂 幸太郎【著】
	『崩れる脳を抱きしめて』 知念 実希人【著】
	『どんな時でも人は笑顔になれる』 渡辺 和子【著】
	『テヘランからきた男 - 西田厚聰と東芝壊滅』 児玉 博【著】
	『SHOE DOG - 靴にすべてを。』 ナイト, フィル【著】(Knight, Phil)/大田黒 奉之【訳】
	『図書館につづく道』 草谷 桂子【著】
	『インドの代理母たち』 ギーター アラヴァムダン【著】/鳥居 千代香【訳】
	『選んだ孤独はよい孤独』 山内 マリコ【著】
	『私はあなたの記憶のなかに』 角田 光代【著】
	『架空の犬と嘘をつく猫』 寺地 はるな【著】
	『婚活食堂』 山口 恵以子【著】
	『大根の底から』 林 望【著】
	『安楽死を遂げるまで』 宮下 洋一【著】
	『子育てしながら建築を仕事にする』 成瀬 友梨【著】
	『女が美しい国は戦争をしない』 小川 智子【著】
『働く、働かない、働けば』 巳年 キリン【著】	
資料	『女性参政 70 周年記念 女性と政治資料集』 (公財)市川房枝記念会女性と政治センター【編】

## 女性のための 相談室のご案内

### 電話による相談

- 女性のための悩みごと電話相談  
ちょっとした不安や切実な悩みごとなど、お気軽にお電話ください。
- ・毎週月～土曜日 午前9時～午後3時
  - ・TEL (0532) 33-3098
- ※日曜日・祝休日・第3月曜日（第3月曜日が祝日に当たるときはその翌日も）は、お休みです。

### 面談による相談

- 女性のための悩みごと面接相談（予約制）  
時 間：午後1時30分～3時30分  
（1人約60分）

相 談 日	予約受付開始日
12月14日(金)	12月1日(土)
1月11日(金)	1月4日(水)
1月25日(金)	//
2月22日(金)	2月1日(金)
3月8日(金)	3月1日(金)

- 女性弁護士による法律相談（予約制）  
時 間：午後1時30分～3時30分  
（1人約30分）

相 談 日	予約受付開始日
1月18日(金)	1月4日(金)
3月15日(金)	3月1日(金)

#### ■予約の受付・問合せ

「面接相談」及び「法律相談」は、予約受付開始日以降の毎日午前9時～午後3時の間に男女共同参画センター（☎33-2822）まで。ただし、日曜日・祝休日・第3月曜日（第3月曜日が祝日に当たるときはその翌日も）はお休みです。

- キャリアコンサルタントによる女性のための再就職相談（予約制）[委託事業]  
時 間：午前9時30分～12時30分  
（1人約50分）

相 談 日（いずれも水曜日）
12月12日
1月9日・2月13日・3月13日

#### ■予約の受付

各相談日の実施日の5日前までに(株)エイジェック（☎052-589-8751）まで

## 数字で見る男女共同参画

私たち一人一人が男女共同参画について考える契機とするため、我が国における男女共同参画の進展を考えるうえで参考となる各種統計を、「数字で見る男女共同参画」ということで随時掲載していきます。

83分

#### 【答え】

日本の6歳未満の子どもを持つ夫の1日あたりの家事・育児関連時間です。

#### 【解説】

平成28年の総務省「社会生活基本調査」（5年ごとの実施）によりますと、6歳未満の子どもを持つ日本人男性の1日あたりの家事・育児時間は全国平均で83分でした。これは、先進国中最低レベルで、最も長いスウェーデンの201分の半分にも満たない数字でした。

一方、女性の家事・育児関連時間は、日本が454分、スウェーデンは、329分でした。

国内の男性の家事・育児関連時間を都道府県別にみると、長いほうから、東京都（121分）、山口県（103分）、群馬県（102分）で、短いのは、茨城県・和歌山県・岡山県の57分で、福岡県が58分となっています。因みに愛知県は89分で、全国平均を若干上回っていますが、みなさんどのように感じられますか？



毎年11月12日～25日の2週間「女性に対する暴力をなくす運動」が実施されます。

パープルリボンは、女性への暴力の根絶や、膀胱がんの啓発と撲滅をはじめとする、社会や医療の各分野で用いられるアウェアネス・リボンです。

パルモ通信 No.22

[発行] 男女共同参画センター「パルモ」  
〒441-8075  
豊橋市神野心頭町3-22  
TEL (0532) 33-2800  
[発行月] 2018年11月